

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

死刑執行人サンソン

著者名	安達正勝	発行年	2003年
出版社名	集英社	ページ数	237ページ
値段	700円	ISBN	978-4087202212
コメント	仕事として人を殺す。その不条理をプロフェッショナルとしての誇りを以て乗り越えていった、たくましき家系の男たちの肖像が、じつにいきいきと提供され、ギロチン華やかなフランス革命の奔騰のまっただなかに首根っ子ごと巻き込まれる。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ゆう ☆☆☆	怖い本かと思っていたが、まったくそんなことなかった。世界史的な本を読んだことがなかったが、興味を持つようになった。今後は積極的に読んでいきたい			
	すべて	237P (200分)		2013/07/31 00:47:51
zin ☆☆☆☆	題名からして、すごく重たい内容なんじゃないかと身構えていたがそんなことはなかった。まるで小説のように描かれていて、引き込まれた。今までこんな視点持ってなかったなので、視野が広がった。			
	全部	237P (150分)		2013/07/25 13:17:26
じゃけん ☆☆☆☆☆	死刑執行人と聞くと残酷な内容を思い浮かべるが、そんな内容ではなかった。サンソンは理不尽な偏見、差別に毅然とした姿勢を貫く人間であった。また執行人としての様々な苦悩を強いられたが全てにおれることはなかった。現代の自分にも学ぶべきことがあるように感じた。			
	全て	237P (150分)		2013/07/18 18:22:50
蛭田 ☆☆☆☆	この時代の背景や、主人公の心理描写も事細かに描かれている。			
	裁判員制度などについてもよく聞く話だが、実際に人間の死に関わることで背負うものは、想像するよりずっと重く永続的に続くものなんだと感じた。あくまで客観的視野に立っているが、やや筆者の主観の入ったところもあるように感じた。			
全部	239P (200分)		2013/07/11 18:33:06	
	まるで小説を読んでいるかのように、サンソンに共感してしまいました。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

<p>マルメロ ☆☆☆☆</p>	<p>刑の描写は思っていたよりも少なく、そこまで苦にはななかったです。</p>			
	<p>全て</p>	<p>273P (120分)</p>		<p>2013/06/27 23:58:11</p>
<p>recald ☆☆☆☆</p>	<p>「死刑執行人が忌むべき存在なのは、死刑によって社会秩序を保とうとする正義の体系が忌むべきものだからではないか」みたいなところが心に響きました。死刑制度の廃止は答えがなかなか出ない問題としては有名ですが、それに関する死刑執行人の独特な論理が面白い。</p>			
	<p>全部</p>	<p>237P (240分)</p>		<p>2013/06/24 11:07:56</p>
<p>rk ☆☆☆☆</p>	<p>生まれながら死刑執行人になるというのはツライ運命だな…と感じました。 話の所々で出てくる葛藤の場面で、死刑の重さを感じます。 今の日常生活とあまりにかけ離れた世界は、事実をもとにしているのに、架空の物語のような感じでした。</p>			
	<p>全部</p>	<p>237P (240分)</p>		<p>2013/06/22 12:21:29</p>
<p>なすび ☆☆☆☆</p>	<p>中世パリの時代の移り変わりを死刑執行人という観点から見た本。 死刑執行人がどのような扱いを受けてきたかに始まり、死刑についての考え方の違い・ギロチンが出来た経緯など様々な気づきがあった。死刑反対を死刑執行人がいうと重みが違う</p>			
	<p>全部</p>	<p>237P (120分)</p>		<p>2013/06/19 15:49:09</p>
<p>こだま ☆☆☆☆</p>	<p>死刑執行人、サンソン一族四代目シャルル・アンリ・サンソンの伝記であり、シャルル・アンリの立場から感じたフランス革命を描いた一冊でした。 処刑人だからこそその迷いや葛藤が書かれており非常に好きな作品です。 処刑されるなら「八つ裂きの刑」より「斬首刑」かな。</p>			
	<p>すべて</p>	<p>239P (200分)</p>		<p>2013/05/05 00:32:46</p>
<p>フラン ☆☆☆☆</p>	<p>すみません。返してからコメントしているため、おすすめの具体的なページ数が申し上げられません。やはり革命が起きたあたりが印象的ですね。 ただ、その部分だけを読んでも感動は薄いのかなと。 サンソンの性格・苦悩を理解した上でその箇所に挑んでいただいた方が面白いと思います。その前の部分はパラ見程度でもいいので。 なににしる人物の描写が面白い。(多分上手いと言える域ではないのですが。)いきなり処刑のシーンから入ったとしてもこういう感情は生まれなかったであろうから。セオリーといえそうなものかもしれないのですが……。</p>			
	<p>全て</p>	<p>237P (180分)</p>		<p>2013/04/30 20:49:39</p>
<p>kabadie ☆☆☆☆</p>	<p>歴史を追った本かと思いきやそこには登場人物のドラマや心情がありありと書かれたノンフィクション・ドラマ本。 ルイ16世とサンソンの奇妙な関係。</p>			
	<p>1-239</p>	<p>239P (200分)</p>	<p>140-154</p>	<p>2013/04/30 15:30:55</p>
<p>あきう ☆☆☆☆</p>	<p>荒木さんの帯に魅力を感じ借りましたが、予想以上に面白かったです。 執行人って、普段はまったく話題に上がらないし、自分から知ろうと思わない。 でも私たちと執行人の共通点、というかそんなに変わらない部分もある！ってところを取り上げるので読みやすかった。 また死刑制度について少し向き合う時間にもなりました。 すごく難しいところはなかったけど、残酷な描写はあるので想像力豊かな私にはしんどいところもありました。</p>			

	全体をばらばら	50P (30分)		2013/04/26 11:50:10
まるちぶる ☆☆☆☆☆	<p>非常に秀逸。 シャルル・アンリ・サンソンの眼を通して、仏革命前後の動乱を臨場感たっぷりに描き切っている。引用の妙と抑えの利いた心理描写とが素晴らしいドキュメントを構成しており、なかでも第4章の価値転倒を迎える場面は一読の価値がある。</p> <p>死刑執行人は往往にして好奇の眼で見られ、サブカル的な要素で以て人々に受け容れられるきらいがあるが、本書に関しては筆者の見識の広さもあってやや消化に時間を要するハードさが存在する。そこが悪いギャップと受け取られ、途中で断念する読者も多いような気がするけれど、ぐっと我慢して読み進むと非常においしいです。註釈部分までおいしい。ごちそうさまでした。</p>			
	全て	253P (70分)	pp.177-217 (第4章)	2013/04/15 23:44:15
neueziel ☆☆☆☆☆	<p>主人公のサンソン（四代目）を中心と処刑人であること、最後敬愛する王を自ら処刑しなくてはならないことに苦悩する姿がひしひしと伝わってきておもしろかった。</p>			
	1-241	241P (200分)		2013/04/13 23:42:29
だんぼーる ☆☆☆☆☆	<p>王党派でありながら、皮肉にもルイ16世を処刑することになってしまった死刑執行人の話。執行人の家系から日々の生活、それを取り巻く周囲の目や社会情勢が、死刑執行人という独特の立場で描かれており面白い。 肯定、否定はともかく、死刑制度について考える良いきっかけにはなるのではないだろうか。</p>			
	1-239	239P (180分)		2013/04/12 17:49:57
まほら ☆☆	<p>死刑執行人の歴史について。物語調ではなく淡々としているので個人的には退屈だった。</p>			
	1-78	78P (80分)		2013/04/10 14:04:13

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

日本列島の20億年

著者名	白尾元理	発行年	2009年
出版社名	岩波書店	ページ数	100ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4000057707
コメント	写真がすばらしい。特に空撮。鳥の目でしっかりと山や川が、どんなふうに地形をつくってきたかが見てとれる。ナンバー20の新雪富士にほれほれ。 解説が、もっと愛想良かったらなあ。できればイラスト入りがあたまほしい。良い企画なのに、そこがホント惜しい。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追上げ ☆☆☆	これって日本?て写真もいくつかあり、改めて日本の自然の豊かさを思い知った。個人的には33の写真が好き。池の中にぼつんぼつんと立っている枯れ木がいい味を出している。			
	全部	100P (15分)		2013/07/31 14:36:34
0120086144 ☆☆☆☆☆	こういうセクシーな本を待ってた。高校時代に自然地理もやりこんでよかったと思う。やりこんだと言っても、この本の中に出てくるものでは養老山地くらいしか知らなかったけど。 鹿兒島に旅行に行ったときに桜島の成り立ちについて博物館で展示を見て全島を回った(タクシーによる)ときの感動を思い出した。			
	全部	100P (30分)	全部	2013/07/30 20:32:13
おいしい ☆☆☆☆	日本って凄、素晴らしい!読んだ時の第一感はこの感じでした。自分の知らない土地も多く、行ってみたいになりました。			
	全部	100P (30分)		2013/07/30 01:28:09
くい ☆☆☆☆	写真がすばらしく、どの写真からも日本の自然の雄大さを感じました。 個人的に目にとまったのは37番の谷川岳。前登った時は岩だらけだけどきれいな山でした。また登ってみたいなあ。			
	全部	100P (30分)		2013/07/09 12:49:57
	地質学好きにはたまらない本、付加体の写真があったことに感動しました。ちなみに日本列島の半			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

pinpon ☆☆☆☆	分が付加体できています。もう半分は花崗岩です。			
	全部	100P (30分)	犬山のチャート	2013/07/01 16:42:59
しろ ☆☆☆☆	日本中旅してきた中で、実際に見たことある風景が4割くらいあったけど、その土地の解説がきちんとされていてもう一度見に行ってみたいと思った。あと、まだ見ぬ美しい景色がたくさんあり、旅に出たいと思わせてくれる本だった。			
	全部	100P (40分)		2013/06/28 18:48:13
joker00 ☆☆	写真はきれいだなあと。いつか自分の目で見てみたいと思います。解説が固い。ただの説明文になっているのが残念。			
	全部	100P (10分)		2013/06/25 13:07:03
25 ☆☆☆	ばらばらっと見てやろうと思っていましたが目に留まるものはいくつもあって、実際に見てみたくなりました。最後に東京の街で締めるってのもナカナカよかったかなと。20億年かどうかはちょっとよく分かりません。			
	すべて	100P (15分)	No.20,24,50	2013/06/05 23:58:45
ruke ☆☆☆	基本的に本当に日本なのかと思うほど知らない土地ばかりで愛着や共感を得にくかった。また写真に人が入り込んでいる写真が有っても良いかなと思う。33番の火山が作った風景は水没した枯れ木がとても神秘的で行ってみたい。			
	100	100P (60分)	火山が作った風景	2013/05/28 19:21:12
ばみゆ ☆☆☆☆☆	地理学の視角から日本列島のかなり古い歴史を示して、前半の写真を見ながら、思想は太古時代に飛んでいる感じ、後半に前半における各写真が示した地理を浅く説明して、非地理専攻の人も理解できる。			
	全部	100P (250分)		2013/05/05 20:42:42
PON ☆☆☆☆	日本列島の中で地学で特徴的なものの写真+その解説。 地質だけでなく、山や地形の写真も多い。			
	全部	100P (60分)	P58	2013/04/16 00:56:47

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

武士の家計簿

著者名	磯田道史	発行年	2003年
出版社名	新潮新書	ページ数	203ページ
値段	680円	ISBN	978-4106100055
コメント	埃まみれの古文書から微細にあぶり出される武士家族の収入と支出。維新を乗り切ったつましい暮らし。映画化もされましたね。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ゆう ☆☆☆☆	武士ってカッコいいイメージがあったが、泥臭い部分が書かれてあって共感を持てた。下級武士すらここまできめ細かく財務を行っているあたり、当時の時代背景が想像できた。			
	すべて	203P (203分)		2013/07/31 01:27:02
river.i ☆☆☆☆	映画を見てからの小説でした。 小説のほうがより細かく家計簿がわかるというイメージでした。 映画でも小説でも武士の知らなかった一面を見れます。 刀を振っているだけが武士じゃない。			
	全て	203P (100分)		2013/07/30 16:25:59
こだま ☆☆☆	教科書的なもので歴史を学ぶのとは違い飽きることなく読み切れます。 まあ、題名の通り江戸の歴史より江戸時代の武士の生活史が中心でした。 江戸でも現代でも体裁は気にするのは変わらないのだと思います。			
	全て	203P (100分)		2013/07/15 14:45:12
蛭田 ☆☆☆	なんというか、読み進めるほどに武士というよりもまるで現代でいうところのサラリーマンそのものに感じた。			
	全部	203P (180分)		2013/07/11 18:40:57

<p>フラン ☆☆☆</p>	<p>似た資料がないと言っていた家計簿の部分が前半にあります。私はこっこのほうが面白かったと思いました。どこまで切り詰めていたのか、とか分かりましたし、階級が高いと貧困していても支払わないといけない代金が重なって大変etc.(後者はこの本以外にも解説本がありそうです。)</p> <p>後半は特に家計簿が引用されることはないのですが、この時代のこの階級がどのような生活を送っていたかを知らない人はそれなりに楽しめるかと思います。特に明治時代に入って武士が没落していくさまはなかなか興味深いものがありました。</p> <p>ところで映画化されたとありましたが、一体どんなものになったのでしょうかね。見聞を広める系の書籍なのであまりそういったことは向いていないような気がしましたが。監督さんに期待です</p>	<p>全て</p>	<p>203P (120分)</p> <p>2013/07/02 17:13:44</p>
<p>はやぶさ ☆☆☆</p>	<p>高校時代に日本史を勉強しなかった自分としては、久々に日本史に触れた気がします。幕末から明治政府への移行を武士の家計という点から眺められたのは興味深かった。身分は高いとはいえども、武士も苦勞していたんだと痛感しました。</p>	<p>自室</p>	<p>218P (180分)</p> <p>2013/06/04 13:18:13</p>
<p>PON ☆☆☆☆☆</p>	<p>歴史の授業や時代劇などで描かれていない官僚としての武士の一面が知れて面白かった。</p> <p>家計が逼迫しているのに面子だけは保とうとするために絵で描いた鯛で祝い事をするというエピソードは笑った。</p>	<p>全部</p>	<p>216P (180分)</p> <p>2013/05/13 23:38:41</p>
<p>マルメロ ☆☆☆</p>	<p>映画を見たことがあったので、こういうことだったのか、と補足しながら読むことができました。</p> <p>両方みるなら、先に映画を見ることほうがおすすめです。</p>	<p>全て</p>	<p>203P (90分)</p> <p>2013/05/12 22:22:22</p>
<p>25 ☆</p>	<p>この古文書に価値があったことは分かるが、読み物としては退屈。</p> <p>歴史背景をある程度説明してくれる構成でも、歴史にある程度興味がないと面白くはない。</p>	<p>すべて</p>	<p>203P (120分)</p> <p>なし</p> <p>2013/05/06 17:46:12</p>
<p>ひやくたむ ☆☆☆☆</p>	<p>知らなかったことが沢山あり楽しめた。</p> <p>作中にもあったが武士はどんぶり勘定だと思っていたため、こんな詳細な家計簿だったとは思っていなかったし、むしろほとんど想像だと思っていたので驚いた。</p>	<p>全部</p>	<p>203P (100分)</p> <p>2013/04/19 16:38:10</p>
<p>コアラ ☆☆☆</p>	<p>金銭的な観点からみた武士の暮らしがよく分かる。</p> <p>ただ貨幣価値の換算が分からなかったため、基本的な歴史背景や経済学の知識がないと明確に実態が掴めないかも。</p>	<p>全部</p>	<p>222P (100分)</p> <p>2013/04/15 10:28:51</p>

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

トランクの中の日本

著者名	ジョー・オダネル	発行年	1995年
出版社名	小学館	ページ数	98ページ
値段	2,500円	ISBN	978-4095630132
コメント	たぶん戦争体験って、こんなふうにしかな手渡してゆけないのかもしれない。ハエが真っ黒にたかったりんご（90ページ）とか、アルミニウムのお盆（30ページ）とか、そして彼の代表作と称えられる96ページの少年……痛みなしでは受けとれない。写真の重み、それが語るドラマの重みを受けとめつつ、並記されている英語のコメントにも目をとめてください。それもまた、ジョー自身が刻んでいったたいせつなメッセージだから。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆☆	後半になるほど重い写真が増えてくるので、すこし辛かったです。やっぱり自分たちのような戦争を直接体験したことがないような人が戦争という概念を理解するには、知識での理解はもちろんのこと、人に直接話を聞き、感情的に理解する、このような写真などをみて視覚的に理解するなどの、多角的なアプローチが必要なのかなと、考えさせられました。			
	全部	98P (30分)		2013/07/31 23:58:36
river.i ☆☆☆☆	やはり文字で読むのと写真を見るのでは伝わってくるものが違う。瓦礫しかない土地、生きようとする少年少女ありきたりな言葉だけど戦争を忘れてはいけなかったと思いました。			
	全て	98P (15分)		2013/07/31 15:23:47
いわし ☆☆☆	戦争が本当に現実起こったんだなあということを実感させられるような悲しい写真が多くあった。			
	2-28ページ	27P (20分)	2	2013/07/31 11:33:25
PON ☆☆☆☆☆	原爆で何もかもがなくなった長崎の写真はぞっとした。運動会や警官など、終戦後の生活の写真もあって興味深かった。			
	全部	113P (30分)	82,83,90,91ページ	2013/07/22 10:37:56

kabadie ☆☆☆☆	44ページの老人の言葉に胸を打たれました。 戦争ということ、人種ということ、すべてを知っているような老人の言葉が、筆者にこの本を出版させたのだと思う。			
	全部	98P (60分)	44	2013/07/16 17:07:20
AM5:42 ☆☆☆	個人的には建物や風景の写真がぐっときた。 原爆、戦争の爪痕の記録。ただ単に芸術としてみると、産業遺構のようなたまたま興味深いものだが、その背景を知って改めてみると全くことなつた衝撃だった。			
	ぜんぶ	98P (60分)	80	2013/07/16 17:03:24
rk ☆☆☆☆	衝撃的な写真が複数。太平洋戦争での原爆の爪痕など、悲惨な状況を記録した作品でした。 立ち読みポイントにあげたところは、悲惨な写真ではなく、米兵と市民が机を囲んだり、米兵が日本の文化に触れている写真です。なんだか、普通のホームステイのようで、笑顔がいいな…と思いました。戦わなくても良かったんじゃないかと思えます。			
	全部	98P (30分)	38-41	2013/07/02 17:21:13
book9648 ☆☆☆☆	戦争の恐ろしさ・悲惨さが伝わってきた。見るのがつらい写真もあった。言葉では伝えられないものが、これらの写真から伝わってきたと思う。 よくいったんしまい込んだトランクを開けたなあとと思った。			
	全部	115P (40分)	94	2013/06/28 10:54:03
ばみゆ ☆☆☆☆☆	作者の感情が見える。最初の真珠港を攻撃した日本に復讐の気持ちを持って軍に入って、最後に戦災で焼けられた土地や、被爆された難民を見て、同情や戦災に対するいやな気持ちが持ち上がった。 読者もその気持ちに巻き込まれて、平和に対する祈りが強くなった。			
	すべて	115P (110分)		2013/06/16 16:26:37
14 ☆☆☆☆☆	米軍視点から見た長崎、福岡、広島の爆心地や人々の様子のドキュメンタリー本。読むにつれて、70年前の日本全国がこのような惨状であったことが実感され、涙が出て来る。			
	全て	115P (15分)		2013/05/27 14:32:37
25 ☆☆☆	これまで、被爆者の方の話や戦争体験を聞く機会はありませんでしたが、やはり写真で見ると多くのことが分かります。米軍視点ですが、貴重な写真が収められています。			
	すべて	98P (60分)	p45,67,87,97	2013/04/27 14:08:06

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

任天堂“驚き”を生む方程式

著者名	井上 理	発行年	2009年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	288ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4532314637
コメント	人生のたくさんの時間をお世話になってきた、いやたぶん今もお世話になりつつあるゲームの世界のお話。京都の花札屋がいかにして世界制覇を成し遂げたか？なんてまとめると、ありがちサクセスストーリーっぽく聞こえるけれど、どうしてどうして、この会社はタダモノではない。「最先端じゃなくていい、枯れた技術でじゅうぶん」「僕は役に立たないモノを作ってる」、経験に裏打ちされたスゴイ言葉がぼんぼん飛び出していきます。数時間のインタビューをお手軽にまとめたのは底力の違う、取材の手あつさがあってこそ。気合いの入ったルポルタージュです。そして何より、社長の岩田さんが我らが東工大の大先輩だったことに、アツくなれる……はず！		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆	お母さんに気に入られるように作っているからこそ家族でやると言ったらWiiなのかな。 この本では主にDSとWiiについて書かれてますが個人的に任天堂の最大の革新はSPだったと思っています。 二つ折り、充電、バックライト この3つを同時に投入したSPこそ画期的だった。 そこのエピソードも知りたい。			
	1-150	150P (80分)		2013/07/31 15:01:34
0冊からの追い上げ ☆☆☆	ゲームをやる人側に立って面白さを追求するのではなく、母親に気に入ってもらえるようにというのはなるほどと思った。中学生になってからゲームはやらなくなったが、これやったなーと昔を思い出しながら読めた。ただ内容的にはそこまで引き込まれなかった。			
	全部	288P (90分)		2013/07/31 14:32:55
ゆう ☆☆	任天堂が、日本らしい属人的な経営で成り立っていた企業なんだと感じた。衰退しているいま読んでみて、斜めの視点で読めたのがよかった。			
	すべて	288P (320分)	2章	2013/07/31 00:36:57
14	任天堂は優れた技術力に裏打ちされたアイデアを提供してきたからこそゲーム界のパイオニアとして今も君臨しているのだろうと思った。 パズドラなんて物はゲームでは無いということを思い知らせてほしい。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

☆☆☆☆		全て	300P (200分)		2013/07/30 13:40:43
おいしい ☆☆☆☆☆	確かに、ゲームボーイ時代に2画面があったらとは考えもしなかった。そう思うとDSは単純で画期的なイノベーションなんですね。 企画・開発するって難しい・・・				
	全部		288P (100分)		2013/07/30 01:18:13
zin ☆☆☆	Wiiは、お母さんに嫌われないことを第一に考えた。 一番印象に残ったフレーズです。 この本を読んで、ドメイン設定というか、自社の強みを自己定義することの重要性を感じました。 任天堂の熱意を感じた。				
	全部		288P (180分)		2013/07/24 12:18:07
BBB ☆☆☆	すっかりゲーム離れしてしまった僕からするともうついていけない話題だと思っていましたが、昔を思い出して親近感を持って読むことが出来ました。 本書にも書いてあるとおり、任天堂は最早ゲーム機を扱うメーカーに留まらず、人々の生活の様々な場面に進出しています。 いかに幅広い範囲までアンテナをはってアイデアを見つけることが大切かということに気付くことが出来ました。				
	全部		288P (150分)		2013/07/21 11:52:23
フラン ☆☆☆	ん～。方程式っていうかっちりしたものがないから、“驚き”が提供できるって文章だった印象。 少なくとも「成功」を生むとか書いてない分だけマシか……。 任天堂の驚きと言うよりは、技術屋の誇りみたいなものがすごいなぁと感じた。しない点を見間違えたとこの手の会社はすぐに負債を抱えてしまうというシビアさが際立つ。 一方で、斬新さに欠くような印象も受けた。裏返せば、よく言われることもちゃんとこなせということですが。				
	すべて		288P (160分)		2013/07/19 00:16:32
PON ☆☆☆☆☆	PS3やXbox360の大規模なゲームに対して任天堂が簡単だが面白さを追求したゲームを目指すというのは自分の強みを信じて業界の流れに逆らったという点ですごいなと思った。 ピクミン3が楽しみだ。				
	全部		304P (300分)		2013/06/29 23:34:46
neueziel ☆☆☆☆	wii、dsのゲーム人口拡大計画が（少なくとも）はじめは非常に正しく合理的で成功していることがよくわかった。ただしその先がうまくいかず今のような状況になっているのは皮肉だと思う。				
	すべて		288P (180分)	序盤	2013/06/25 16:25:40
はな ☆☆☆	話を聞くと「なんだ、そんなもんか」と思うけど、実際に思いつくのがって難しいってことありますよね。絶えずアイデアで勝負していく姿勢は良いと思った。でも本書にも書いてあるが、アイデアってどうしても当たれはずれあるからね、今までのように任天堂が成功できるのかは…。期待！				
	任天堂の英雄数人達については、OBだからではなく、論理的な点で岩田さんが魅力的だと思いました。ただ、ソフト派の気持ちも分かるけど、ハード派はハード派で魅力的だよなって思っちゃう自分は、WiiよりPS3派です。笑				

	全部	288P (180分)		2013/06/25 15:18:45
だんぼーる ☆☆☆☆	宮本氏や岩田氏がどのような思いで新製品を企画し、世に送り出しているのか。そのスピリットに圧倒される一冊です。しかし、売りの3D機能が一向に使われていない3DSや、いまいち盛り上がらないWiiU…。本書にある成功体験にとらわれてしまったのではないかと、そう思わざるを得ません。これだけの魅力に溢れている任天堂だからこそ、もう一度立ち直ってほしい。そんな応援の気持ちが湧いてくる読書体験でした。			
	1-288	288P (70分)		2013/06/24 16:49:25
ねりものや ☆☆☆☆	過去に裏打ちされた人間が出すアイデアが、いかに素晴らしいものかわかる。失敗を知っているから、最後まで妥協しない。成功を知っているから、より大胆になれる。そんな人たちがいる会社だからこそ、いつまでたっても魅力的なんだろうと思う。			
	全部	288P (180分)		2013/06/04 15:15:06
あきう ☆☆☆☆	任天堂を支えてきた人たちの様々な視点が描かれていて、とても奥深いお話でした。経営理念や任天堂という会社の歴史、ゲームに対する時代変化などトピックは複数ありました。が、やっぱり岩田さんや宮本さんといった個人個人の任天堂やゲームに対する思い入れが一番読みどころがありました。			
	全部	288P (180分)	第4章	2013/05/07 17:33:08
しろ ☆☆☆☆☆	任天堂の歴史、社風、商品開発の裏側などあらゆる角度から書かれていて面白かった。やるべきことをゲーム関連にだけ絞って邁進するその姿を今後も貫いてほしい。			
	全部	288P (180分)		2013/04/24 00:58:54
quench ☆☆☆☆	DSとWiiの誕生の話が意外性があった面白かった。任天堂の数々のアイデア誕生の秘密が明かされている。			
	全部	300P (180分)		2013/04/22 21:36:09
まほら ☆☆☆☆	任天堂がSONYの独走状態からいかにしてひっくりかえしたかがわかって面白い。OBの岩田社長ということで親近感もわく。けどWiiはよかったけどWiiU大丈夫？			
	1-250	250P (180分)		2013/04/09 14:52:35

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

「社会を変える」を仕事にする

著者名	駒崎弘樹	発行年	2011年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	283ページ
値段	777円	ISBN	978-4480428882
コメント	そんなにゴタイソウな理想や使命感があったわけじゃないんだ。 ベンチャーやって、ふと行き詰まって、じゃあなんか、金儲けじゃないことやってみつか、みたいな。 ワーキングママたちのために、子供が急病の時に預かってくれるNPO「フローレンス」を立ち上げた駒崎さんの、いきあたりばったり、でも大まじめでアツい浮き沈み人生。 ポコンポコンとキーワードが大きなフォントになってて、そんな工夫も駒崎さんの人生みたいにメリハリがあって◎。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
zin ☆☆☆☆	読みやすく、すらすら読めた。 かっこいいなー。こーゆー生き方。 結局自分は何をしたいんだろう？ 当面の課題というか、人生で答え出るのがかな？ その時々で変わって、後付けで成功させていくものなのかな… とかいろいろ考えます。			
	全部	283P (120分)		2013/07/25 13:39:13
万年筆 ☆☆☆☆	非常に読みやすい文体で、とても感情移入しやすく著者の考えが理解しやすい文章。それでいて、社会起業家へのなりかたなども、具体的な団体名などをだしながら紹介しているので、ただの成功体験談で終わっていないのが評価できる。ただ、これは好みの問題ですが、自分は福祉関係にまったく興味を持ってないことから★4としました。			
	全部	283P (120分)		2013/07/05 22:23:31
はまじ ☆☆☆☆	「君さ、本当は何がしたかったんだけ？」 私が一番印象に残っている台詞です。なぜなら、著者が挫折を味わっているときに、この質問を仙人から受けて、手段と目的を一緒にしていたと気づき、事業スタイルを確立させたからです。この問いを私にも投げかけました。「東工大で本当は何がしたかったんだけ？」これに自信を持って答えられないのは、私だけではないはず。 大学生というのは、精神的にも肉体的にも恵まれており、時間もたっぷりとあり、バイトでお金も稼ぐことができ、さらに、最先端の研究をしている大学にいる貴重な六年間です。この著者はそこで、「社会問題を解決しよう」という目標を設定し、懸命に取り組んでいます。こんなやつらがいるのに、私は研究と授業とバイトに明け暮れて、社会問題は自分とは関係ないものだと思っていて、焦りました。意識が低すぎました。学生生活はまだあります。自分にしかできない目標設定を			
	全部			

	し、成し遂げてやろうとこの本を読み、決意しました。			
	1-283	283P (150分)	167	2013/06/06 23:21:16
Harley Davidson ☆☆☆	起業家にはやっぱり憧れますね。すごい人です。 「いつか自分も起業したい」って思います。 個人的には、留学の話が書かれているところが好きです。			
	全部	243P (60分)		2013/06/03 18:28:13
vecky ☆☆☆	スゲー、しか感想が思い浮かびませんでした。 私とは境遇が全然違いますが、なぜか純粋に憧れてしまいました。 男なら憧れませんか？			
	全部	283P (60分)	なし	2013/05/27 11:27:44
book9648 ☆☆☆☆	内容は面白いが、自分にはまねできないと思った。 日本の多くの若者がこの本を読んだら、そのなかの一部の人たちが社会を変えてくれるかもしれない。 文章としては読みやすかった。			
	1-283	283P (240分)	282	2013/05/21 12:19:09
あきう ☆☆☆☆	気づいたら夢中になって読破してました。 病時保育だけでなく他の案件もビジネスモデルとして確立して、需要側も供給側もそれで成り立つならば、どんどん民間に委託していくのもありかと思えます。 とにかくアンケートなど生の声を大事にし、即座に反映する点は素敵だなあと思いました。 ただ、個人的にはフローレンスの利用料金は高いんじゃないかと……			
	全部	283P (70分)	120-140くらい（挫折のところ）	2013/05/20 12:10:37
ちょんまげ ☆☆☆☆☆	さらっと読めるけど、読み終わった後心に火をつけられたようにやる気が湧いてくる本です。 駒崎さんのやっていることをそのままやってみたいとは思わないし、そもそもできないとは思うけど、彼のように利他の心を大切に作る人間になっていきたいと思いました。			
	全部	243P (120分)	全部	2013/05/17 13:08:45
Shushu ☆☆☆☆☆	社会貢献をしようと病児保育事業を始めるが、まず現場と国の制度にギャップに気が付き困難にぶち当たる。しかし、国に頼るだけでなく自分たちで自立し運営していくためのシステムを考え、事業を運営することで社会貢献をしていく。そんな新しい社会貢献の仕方を学べ、とても新鮮だった。そしてこの本の作者の行動力にはとても驚かされた。			
	243	243P (120分)		2013/05/12 17:27:42
daaasuuu ☆☆☆☆	面白いし、読みやすい。 「社会を変える」気なんて全然ない人でも、読み分かったら何かかわるかもしれない。			
	全部	283P (120分)		2013/05/09 14:04:40
くい ☆☆☆	ITベンチャー経営者が病児保育サービスを立ち上げるまでの考え方の変化や苦労がライトな感じで書かれており、かなり読みやすかったです。			
	1-220	220P (100分)		2013/04/19 15:28:46

ほしほし
☆☆☆

社会を変えるには様々な方法がある。筆者は、NPOの団体を立ち上げ、病児保育サービスを展開することで、社会に価値を提供しようとする。しかし、それまでには行政、住民、企業との壁が立ちだかる。エッセイ風の文章で、筆者が問題意識を持った学生時代から、事業に成功した現在まで、物語が進んでゆくの読みやすかった。

1-283ページ

283P (89分)

1-22

2013/04/17 09:35:22

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

「20円」で世界をつなぐ仕事

著者名	小暮真久	発行年	2009年
出版社名	日本能率協会	ページ数	209ページ
値段	1,470円	ISBN	978-4820717416
コメント	テーブルフオーター。社員食堂でヘルシーメニューを選ぶと、あなたが支払ったうちの20円がアフリカの子どもの給食になります。東工大生協でも始まりましたね。 先進国の肥満と途上国の飢餓を一举に解決してしまえという欲張りアイデアをビジネスとして成り立たせてしまった小暮さん。そのサクセスの舞台裏トークですが、パートナーシップの築き方やブランディングの手法など、ふつうの仕事に置き換えてもしっかり適用することができます。 その点、フローレンスの駒崎さんよりクールで論理的かな。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
じゃけん ☆☆☆☆	テーブルフオーターの創始者の話でした。NPOの経済的な自立を目指すという点で魅力的な話が展開していきました。世の人のためになるようなことが、持続可能なシステムとして成り立つことはとても素敵なことであるとおもいます。			
	全て	209P (209分)		2013/07/31 23:19:01
ゆー ☆☆☆	人は何かの仕事をして対価としてお金をもらうわけで、社会問題を解決する形でも報酬はもらうことは、悪くない。日本人(外国はどうかはわからないが)はボランティア精神みたいのが強いのか、社会問題を解決することにお金をもらうのは美德に反するとか、変な概念が頭にこびりついてる。自分ももちろんそうなのだが。 新しいビジネスの形として、社会問題にみんなが楽にアクセス、解決に関わる方法を売り出している社会起業家の話。			
	1.2章あたりをばらばらと	50P (10分)		2013/07/30 17:36:49
candy ☆☆☆	TFTをこの本で知りました。TFTだけではなく、ビジネスについての知識もあり、読んでいて勉強になりました。ただ、小倉さんの自伝を読んでいるような感じの部分も多く、彼の優秀さを見せつけられてる感がありました。 ですが、就活前のこの時期にこの本を読めたのはよかったなと思います。			
	1-209	209P (150分)		2013/07/30 12:48:49

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

<p>マルメロ ☆☆☆</p>	<p>TFTのことは聞いたことがあったので、こんな人が運営しているのかと新鮮でした。 ただ、NPOについての話よりも作者自身の話が目についてしまってまるでビジネス書、のような印象を受けました。</p>			<p>全部</p>	<p>209P (40分)</p>		<p>2013/07/22 23:05:07</p>
<p>ほしほし ☆☆☆☆</p>	<p>20円で何ができるのだろうと思い、この本を読んでもらうことにした。著者の小暮さんは食堂の売り上げの一部である「20円」を、アフリカの学校支援に充てるNPOで活動されている。コンサルの経験を活かした手法を生かした支援活動は、多くの企業を巻き込んだ大きなものとなった。世界を変えるためになにができるだろうと考えることがある。自分の強みをいかして、まずやってみることが大切なのだと感じた。</p>			<p>1-209ページ</p>	<p>209P (138分)</p>	<p>1-3ページ</p>	<p>2013/07/08 12:39:34</p>
<p>あきう ☆☆☆☆</p>	<p>本の内容については駒崎さんのと似ている部分も多かったですが、著者が理工系出身なのでより親近感がわきました。</p> <p>TFTについて存在は知っていたけども、この本を読むまでこんなに気にかけることはなかったです。東工大生協で幾度となく張り紙を見た覚えはあるし、TFTとコラボしてたスリーエフでも週6日くらいアルバイトしていたにもかかわらず、TFTがどんな目的をもってどんな取り組みをしているか全く知らなかったです。自分がいかにいつもぼーっと過ごしているかを実感しました。</p> <p>これからはどんなことに自分が興味をもつかわからない以上、アンテナをはって、少しでも気になることには積極的に情報を仕入れることも大事だなあと思いました。もちろん疲れないでできる範囲ですが。</p>			<p>全部</p>	<p>209P (60分)</p>	<p>202-212</p>	<p>2013/06/17 15:13:53</p>
<p>曦 ☆☆☆</p>	<p>最初に作者は理想家だと思っていますが、どんどん読むと、そうではありませんでした。何かを迷って、何かの道を選んで、進んでいました。それからの就職について役たつでしょう。</p> <p>そして、分かったことがひとつありました。「優秀な人はどこに行っても優秀だ」。</p> <p>最後、自伝ではありませんのに、小暮さん自身の事が多すぎるとして、減点です。</p>			<p>第一、二章と三章の前半</p>	<p>130P (90分)</p>		<p>2013/05/12 16:35:10</p>
<p>はまじ ☆☆☆☆</p>	<p>社会企業家とは、「いいことをすべきだ」というのではなく、「こうすれば楽にいいことができますよ」という仕組みを作る人のこと。この定義を知り、社会企業家に対して抱く印象が変わりました。</p> <p>また、小暮さんがIAESTE出身で、わたしも去年そのプログラムを利用させて頂きました。彼は超グローバル指向な大学生活を送っており、それをアメリカへの4年間の留学へとつなげており、成功するためにはリスクを取る必要があるのだと感じました。</p>			<p>1-219</p>	<p>219P (180分)</p>	<p>89-99</p>	<p>2013/05/07 10:42:57</p>
<p>ひゃくたむ ☆☆☆☆</p>	<p>著者のエネルギーが伝わってきた。 またNPOの見方が変わった。宣伝の効果を実感した</p>			<p>全部</p>	<p>209P (100分)</p>		<p>2013/04/19 12:56:08</p>
<p>quench ☆☆☆☆</p>	<p>5Pというフレームワークは技術経営を学ぶ上で役に立ちそうであると感じた。</p>			<p>全部</p>	<p>219P (180分)</p>		<p>2013/04/17 21:39:46</p>

コアラ
☆☆☆

タイトルに惹かれて読んでみたが、世界をフィールドにした仕事やNPO関連の仕事につくことは想像以上に容易であることを学んだ。しかしその仕事に長期間従事することは、相当の覚悟が必要であると思った。

3章後半以外全て

180P (150分)

終章

2013/04/16 17:17:36

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

米国製エリートは本当にすごいのか？

著者名	佐々木 紀彦	発行年	2011年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	254ページ
値段	1,575円	ISBN	978-4492223130
コメント	アメリカの大学は優秀？日本はダメ？それってホント？に答える本。 アメリカの大学から話は膨らみ、中国関係や歴史問題、国際政治に主義主張と、これから考えるべきであることが伝わってくる。雑誌記者として、興味の集合知ともいうべき本。 野球好き（特にソフトバンクファン！）なら、迷わずp174は読んでみて！		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
0120086144 ☆☆☆☆	各節が短めだったのでパラパラめくっておもしろそうなところだけ読んだ。特に歴史界限。 かく言う私も高校時代文系からの文系学部出身で得意科目は世界史地理という人間だったので断言するが歴史で未来予知はできない。歴史だけでは分からない一般的なものを身につけるためにゲーム論の方向に入ったのですね～～			
	バラバラ	50P (20分)	歴史を学ぶ意義みたい なところ	2013/07/30 20:23:20
14 ☆☆☆☆	話題の本。筆者の留学中の体験をベースに書いてあり、日本人からしたら分かり易いのだが、理工系ベースの話ではないのでそれは残念。 日本人はインプット、アウトプット共に圧倒的に不足しているのは認識しなければならない。			
	全て	254P (200分)		2013/07/30 13:58:40
じゃけん ☆☆☆☆	アメリカの学生についてよりも、むしろ日本の現状について考えさせられた本でした。また筆者の留学体験を軸に話をしているので、留学を知る意味でも、本の題名に比べて気楽に読める本だと思います。			
	全て	254P (250分)		2013/07/28 15:06:14
万年筆 ☆☆☆	著者が文系なので、どうしても文系視点から書かれてしまうため、そこが理系としては残念だと感じてしまうところでした。			
	ただ、この本を読んで歴史を勉強することの大切さがよくわかったので勉強しようとは思いました。あとは著者の勉強した知識は自分のなかで体系づけなければ役にたたないという意見には賛成できませんでした。自分も最近体系付けられた知識の強ささ身を持って実感したことなので、このこと			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

	は胸に刻んでおきたいです。			
	全部	254P (120分)		2013/07/27 20:22:44
あきう ☆☆☆☆	さすが新聞社の人だけあって、上手く文章が書かれていて面白いしわかりやすい。とくに立ち読みポイントは日本の現状を一つの学級として例えていてかなり理解しやすかったです。 内容は留学話から中国の話や日本の歴史などタイトル以上に多岐にわたっています。その中で日本の残念な点を主張している面もありましたが、それだけで終わらず、日本の将来を明るく見据えている態度に好感が持てる本でした。	全部	254P (180分)	156-159 2013/07/01 17:09:21
PON ☆☆☆	筆者の留学経験がベースにあるので、読んでいて分かりやすい。理工学系の大学の実験、研究については特には書かれていないのが残念。	全部	248P (240分)	2013/06/29 23:20:47
フェリー ☆☆☆☆	アメリカの大学生活と聞くと華やかなものを想像してたが、実際はかなりきつい印象を受けました。 留学とか行ったら大変そう・・・。 時間があまりなかったので一部しか読めませんでしたが、残りも是非読んでみたいです！	1-70ページ	70P (60分)	2013/06/11 01:47:01
はまじ ☆☆☆☆	アメリカのエリートは雲の上の存在だと思っていたけれど、実は違うらしい。大学時代に、圧倒的な読書量とアウトプットの練習量の二つをこなしているから優秀なのだ。 また「貧困大国アメリカ」を同時読みしたけれど、学力がなく貧乏になってしまったら、フードスタンプでマックばかり食べてデブになって、病気になっても病院に行けず、さらに、高校卒業したら軍隊行き。こんな過酷な現実が日本にもあったら、私も必死こいて勉強するはず。	1-254	254P (200分)	30-35 2013/06/04 12:04:02
フラン ☆☆☆☆	非常に面白い。ただ面白いというわけではなく、出来ればこれを課題として読んできて、授業でディベート的な何かを出来ると特に面白いかと。 著者が少々自分の知識を他分野に無理やり拡張しているのか、違和感を覚えるような箇所がいくつかあったようにも思う。もしかすると理系という一種独特な世界で生きてるからか？とも思わないでもない。あと、作者が米国型エリート生産法を礼賛する中で欠点を挙げてるようで、なんとなくこの人どの立場だ？と怪しい気もするが……。 そのまますぐに日本に取り入れてどうのという気はあまり起きなかった。当然負の部分も取り入れることになるし。まあ、面白そうだから余興程度のつもりでやってみるのも悪くはないのかもしれない。	全ページ	254P (140分)	2013/05/08 11:51:06
マルメロ ☆☆☆☆	テーマはアメリカの学生でしたが、むしろ比較対象としての日本について考えさせられました。だからアメリカはすごいという論調ではないので、そういった本が苦手な人も楽しめると思います。	1-254	254P (210分)	2013/04/22 13:48:56

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

絶対ブレない「軸」のつくり方

著者名	南 壮一郎	発行年	2010年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	234ページ
値段	1,429円	ISBN	978-4478015087
コメント	講演聞いて憧れた！ 2010後期受講生さんの熱いご希望にお応えして。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
なすび ☆☆☆☆☆	モルガンスタンレー証券をやめてスポーツ界に殴りこんだ人の本。こんな行動力のある人にあこがれます！			
	全部	230P (100分)		2013/07/31 20:54:02
潤 ☆☆☆☆☆	「お金を失うことは小なり。名誉を失うことは大なり。しかし、勇気を失うことはすべてを失う」という言葉はとても響きます。 勇気を失うとは、自分を失ったと思います。			
	全部	234P (234分)		2013/07/30 16:15:43
こだま ☆	50ページほどで挫折しました。 作者が熱いのは感じ取れます。 就活が始まったらまた読み直そうと思います。			
	1-51	51P (20分)		2013/07/15 14:14:49
ほしほし ☆☆☆☆☆	「軸」を意識したのは就職活動のときだ。自分が何をしたいのか、仕事に何を求めているのか等々を考える際には「軸」が重要になるだろう。「軸」のなかった私は、人の意見に左右されて就活に苦労したのを覚えている。この本にあるように「自分に正直になること」が、絶対後悔しない生き方だと思ふし、ブレない「軸」を作る方法だと思ふ。就活の前に読んでおきたかったと思ふ本である。			
	1-234ページ	234P (121分)	89-93ページ	2013/07/08 12:34:15
	読んだ後実際に何か行動を起こしたくなるようなそんな感じの熱い本です。作者のパワーが紙面か			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

ちょんまげ
☆☆☆☆

らにじみ出ているようなそんな感じです。

著者の南さんはハーバードのMBAをベイカースカラーで卒業したことで有名なライフネット生命副社長の岩瀬さんと一回会っただけで意気投合してしまったとなんかの記事で言っていましたが、やっぱりパワーのある人って同じような志を持つ人を引き付けてしまう魅力みたいなもんがあるんですかね…

全部

234P (150分)

ワーク?みたいなところ

2013/05/01 14:05:58

[TOP](#)へ

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

地図と楽しむ東京歴史散歩

著者名	竹内雅浩	発行年	2011年
出版社名	中公新書	ページ数	184ページ
値段	940円	ISBN	978-4121021298
コメント	お馬さんがパッカパッカ走ってた競馬場のカーブが、そのまま住宅街の道のカーブに残ってるなんて、ちょっと楽しくないですか。そんな街角ちい散歩。 歩くのメンドイ。地図と写真だけで行った気分になりたいモノグサさんに最適なビジュアル仕様。何なら仕上げはグーグルストリートビューでどうぞ。 続編の「都心の謎」篇と、どちらを散歩していただいてもOKです。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ruke ☆☆☆	知識がない状態や土地勘がないと読むのが難しい。 時の変遷で地図に変化が見え、東京の大きな変化が実感できる。 日頃感じていた町の疑問がこの一冊で解決できるかもしれませんよ。			
	51-102ページ	52P (60分)		2013/07/31 00:17:12
candy ☆☆☆	地図を見るのが好きな人、街歩きが好きな人、お勧めです! こうして東京はつくられたのか!と、思いながら読んでいました。この本を読むと、東京への見方がまた違い新たな東京の顔を見ることができます! この本を手に東京へ街歩きに出かけたくくなりました。			
	1-184	184P (120分)		2013/07/30 13:18:52
おいしい ☆☆☆☆☆	自分の趣味にドンピシャでした。地名の由来って面白いですよ。この本を気に入った方、是非、亀有とか調布とかも歴史を調べてみてください!			
	全部	184P (100分)		2013/07/30 01:31:17
おさむ ☆☆☆☆	昔はお台場は八つあったんですね。歴史を遡って、その土地の変遷を鑑みるのも楽しいですな。			
	1-42	42P (40分)	23-42	2013/07/23 11:54:32
	就活で何度も訪れた東京駅。デベロッパーが胸を張って紹介している東京大丸有エリアの歴史は思った以上に深く、複雑なのだなぁと、立ち読みポイントを読んで感じた。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

kabadie ☆☆☆☆	全部	184P (180分)	75-80	2013/07/19 15:49:27
AM5:42 ☆☆☆☆☆	まちを知るなら歴史をさかのぼれ！ということが実感できる一冊。 六本木ヒルズも以前は「谷町」という住宅街であったということ、谷地ということは居住環境がよくなく、低所得者層が多い木造密集地域だったのではないかと、ということ。 昔の地図一枚でいろいろなことが予測できることが面白い。			
	133-180	47P (50分)	164-173	2013/07/16 17:47:27
555 ☆☆☆	地図がカラーで読みやすい本だった。特に8章の都心からなくなったものの章が印象的で、自分が何気なく普段歩いている場所は、もともとはどんな土地であったんだろうと考えてしまった。			
	全部	179P (100分)	都心からなくなったものの章	2013/07/16 09:51:19
quench ☆☆☆☆	日頃何気なく通り過ぎていく場所の歴史の変化に触れることができる。 数十年後、現在との変化を同じように比較した地図を見たい。			
	全部	183P (60分)		2013/06/27 19:02:54
みね ☆☆☆	東京の昔話はけっこう面白い～～			
	1-183	183P (60分)		2013/06/11 00:41:57
0120086144 ☆☆☆☆	日露戦争後から大正といえば日本が最も調子こいてた時期で、おそらく「崇りなんか迷信じゃガハハ」のような雰囲気蔓延していたであろうことは想像に難くない。実際、超能力に関する『実験』は西欧式科学の流入とともに起っている。 その認識を改めさせた将門公の崇りってすごい。心からそう思った。			
	1-179	179P (120分)	79-83	2013/06/03 21:20:48
はやぶさ ☆☆☆☆☆	地図を眺めていると時間を忘れて見入ってしまう私のような人にはお勧めです。普段見ている東京の景色が変わると思いました。			
	全部	183P (120分)		2013/05/28 12:58:00
ほしぼし ☆☆☆☆☆	多くの地図を用いて、東京の今と昔を比較している。初めに思ったことは、昔の地図に「味」があって良いという事だ。赤や青の線で描かれた地図は、その時代を生きていないけれど、なぜか懐かしい気持ちにさせてくれた。また、東京のど真ん中に射的場や刑務所があったという発見も驚きだった。新宿や池袋は、100年前は「郊外」だったあるが、今の煩雑な街並みしか知らない私には想像しがたい。昔の東京の良さを気付かせてくれるような、そんな楽しみがある本だった。			
	1-184ページ	184P (70分)	1-6ページ	2013/05/22 16:40:01
まるちぶる ☆☆☆	最近わけあって市ヶ谷近辺に出入りしているのですが、曙橋から若松河田へ抜けるところにある台町坂、日の当たる道なのに何かうしろぐらい印象があったんだけど、そういうことだったのかーと思いました。133頁あたりに記載があります。おこわ。ちなみに若松河田から東に進むと女子医大があって、なんか佳いです。 古地図見てるだけでおなかいっぱいになれる本です。ダイエット中の古地図好きさんにおすすめです。			
			pp.133-179 都心からな	

	全て	184P (60分)	くなったもの	2013/05/21 12:56:17
だんぼーる ☆☆☆☆	高度に発展した東京ですが、よくみると江戸時代や戦前の痕跡がそこかしこに。東京に限らず、いろんな場所で「ここは昔何だったんだろう」と妄想したくなること請け合い。散歩がさらに楽しくなる一冊です。			
	全部	185P (100分)		2013/05/14 18:42:59
コアラ ☆☆☆☆	カラー地図が多用されていてとても読みやすい本だった。慣れ親しんでいる場所の歴史を詳しく知ることができ、場所が持つ意味を考え直すきっかけとなった。特に6章の山手急行電鉄計画は印象的で、歴史に“if"はないけれど、もしこの鉄道が実在したらと想像を膨らませることができ楽しんで読むことができた。歴史、地図に興味がある人は読んでみてください。			
	全部	180P (100分)	6章	2013/05/07 12:37:07
book9648 ☆☆☆☆	地図を見ていて不自然な形の道路を見つけることがあるが、本書ではそうした場所に隠された歴史を教えてくれる。新旧の地図の比較が見やすい。本書を読んで地図を眺めるのが楽しかった。			
	1-183	183P (210分)	131-146	2013/04/21 19:47:02

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

江戸の崖 東京の崖

著者名	芳賀ひらく	発行年	2012年
出版社名	講談社	ページ数	207ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4062692892
コメント	ああそういえば、あの崖は電車から良く見るなあ、あ、あそこオレの通学路だったぜ、なんて、きっといくつも思いあたる風景に出会えるはず。「崖つぶち」にフォーカスしての東京めぐり、都市の基盤の脆さと人の営みのたくましさの、どちらがより心に刻まれるでしょうか。 うにゆうにゅと立ち上がる10倍誇張の崖航空写真たちは一見の価値あり。立ち読みでぜひ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆	崖という普段まったく気にしない視点から東京を見つめなおして、興味深かったです。自分はいろいろなところを散策するのが好きなので、この本のいろいろなところに見覚えがありました。が、「崖」という視点ではみることがなかったので、再発見。これからの散策にはこのような視点も加えてみたいものです。			
	全部	207P(90分)		2013/07/31 22:16:32
ゆー ☆☆☆	御茶ノ水、高校時代は塾があったため頻りに足を運んでいましたが、のどかといつかなんといつか品がある街よなー。学生時代一人暮らししたい街ナンバーワンですよ自分的には。写真見ながらこれ崖って定義なの?とか感じたりもしました。			
	絵を中心にばらばら	50P(20分)		2013/07/31 15:51:11
ばみゆ ☆☆☆☆	技術を使って、見たことがない写真を通して、東京の地形をばあと目の前に展示してくれる。江戸時代から現代にかけて、東京の崖はほぼ間違いなく地形改変の歴史を辿っていること、さらに東京の崖はともかく地盤が弱いことがわかりました。			
	すべて	207P(180分)		2013/07/21 13:05:02
pinpon ☆☆☆☆	自分は昔から、海沿いで都市を一望できる崖がある所に住みたかった。この本では理想な崖がなかったが、面白い本です。			
	図を中心にばらばら	100P(30分)		2013/07/02 11:36:11
	江戸時代の歴史が刻まれている崖はデートに役立ちます。実際に私は神田山に足を運びました。授			

はまじ ☆☆☆	業中に繰り広げられる恋愛理論を応用し、幸運にもお茶の水女子大学の女子にデートの約束を取り付けました。しかし、当日になっても肝心のデートコースが思い浮かばなかったので、鞆に入っていたこの本を取り出し、近くのお茶の水の崖まで行くことにしました。駅から降り、109ページに書かれているコースを散歩しました。崖を利用した階段のドキドキを私と一緒にいるドキドキと勘違いしたのかしれませんが、手をつなぐことに成功しました。ぜひ、男坂と女坂に行ってください。駿河台の大崖を楽しむなんて東京ドームシティの遊園地で遊ぶよりも経済的で知的だと思います。			
	1-133	133P (80分)	109ページ	2013/06/10 18:51:30
iksk ☆☆☆☆	自分の住んでいるところも載っていて面白かった。住人目線では崖というより坂が多いと感じているが、鳥瞰CGで見るとこんなに崖があるんですね…自分の馴染みの場所が載っていると面白いかも。			
	全部	207P (60分)		2013/05/16 01:21:53
まほら ☆☆☆	崖&坂マニア。写真見ただけでも面白い。自分の散歩のお供に。			
	ペラペラ	100P (60分)		2013/05/06 17:02:03
まるちぶる ☆☆☆	塾の先生が昔、「東京の地価は山手線の内と外でまず二分され、その後中央線の南北でさらに割れる。きみたちも山手内側南面に住めるよう努力したまへ」なんて言っていたのを思い出しました。本書で見ると、確かに山手線内側は小高い台地となっていて、南面は坂が豊富で景観が良い。なるほど。			
	全て	207P (60分)	pp.167-170 かなしい坂	2013/04/16 23:32:41
book9648 ☆☆☆	自然に出来た崖について詳しく見てみると、東京の地形の成り立ちについて知ることになる。それにより、東京の地盤は強くなく、地震に弱いということが実感できると思う。地盤について考えるきっかけになった。			
	1-207	207P (180分)	190-204	2013/04/15 19:40:47
AM5:42 ☆☆☆☆	やっぱり奥が深かった崖…… 崖を読めば昔のまちなみが思い浮かぶこの面白さを感じる自分が、果たしてどれくらいマイノリティなのか？			
	1-207	207P (30分)	144	2013/04/10 18:41:56

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

東京R不動産1・2

著者名	東京R不動産	発行年	2010年
出版社名	アスペクト	ページ数	334ページ
値段	2,180円	ISBN	978-4757217621
コメント	自分が住まう空間や働くスペースは、できれば自分で設計したいなあ。 そんな夢の入り口へ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			投稿時間
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	
万年筆 ☆☆☆	いろいろな物件があって参考になります。自分は結構部屋の家具の置き方とかよく考えるのでそういう視点からでも楽しめるのがよかったですね。 とくにオフィスのところで本棚が取り上げられていたのはうれしかったです。やっぱり本棚は本好きとしては、みていていろいろと参考になるので。			
	全部	334P (120分)		2013/07/31 22:42:49
river.i ☆☆☆	シンプルななかに面白さが潜んでる家とかあったので一人暮らししたら参考にしてみたい。 和風な家もやっぱりいい。 畳は必須。			
	1-50	50P (10分)		2013/07/31 16:31:20
0冊からの追い上げ ☆☆☆☆	住んでみたい、と思うのがいくつかあった。ただ一人暮らしで20代の若いうちだけでいいかな。長く住むなら普通が一番と思ってします自分は古い人間？			
	1巻	175P (45分)		2013/07/31 16:08:59
だんぼーる ☆☆☆☆☆	こんな使い方、普通思いつかないよ！というアイデアにあふれた本。 空間だけでなく、生活そのものをデザインする姿勢が魅力です。 読後の余韻でちょっとサイトを開いてみたら、気が付けば数時間たってました… (笑)			
	全部	334P (160分)		2013/07/28 21:25:08
	不動産の可能性は無限大なんじゃないかと感じさせてくれる本。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

zin ☆☆☆	こー考えると不動産って結局何を提供しているんだろうか。 その自己定義がビジネスチャンスですね。			
	2巻	159P (30分)		2013/07/25 13:45:49
なすび ☆☆☆☆	授業でやっていたので読んでみた。 建築には興味のない自分だけ、すらすら読み進めることが出来た。 建築家の方々の創意工夫を感じられる本 けど、実際にこんな家すみたくないなー。住むなら普通の家を、自分の空間に作り上げていきたい。			
	全部	171P (60分)		2013/07/23 01:14:10
フラン ☆☆☆☆☆	データ集は本編読んでから読んだほうが良いと思います。読んだ時の思い出(みたいなもの)が滲んでくるので。 「ドウシテコウナッタ」という家から、「どうして奇抜なものを探す会社が持っているのか」という家まで。 意外とこんな家に住めるというのも面白い。個人的にはP86ちびっ子の家がお気に入り。幸いこの幅なら寝れるというコンパクトな人間なので。 写真も多いので、自分の家のインテリアコーディネートに参考にしても！？			
	1:全部	171P (40分)	150(ミニデータ集)	2013/07/20 12:51:50
iksk ☆☆☆	ジャングルジムオフィス、廃墟のようなビル、もとは倉庫、築100年の家…普通だったら考えられない物件だけど、それを「面白く」改築するのがこの不動産屋。前はポロ家ばかりを対象としていたことで注目度は高くなかったが、それが「面白い」「楽しい」と思わせることで魅力的なエンジンサイトへと進化したのは彼らの腕によるものだと思う！			
	2全部	334P (30分)	118-125.138-143	2013/07/17 15:45:19
massa ☆☆☆	色々な物件がある。私は、これらで挙がっている物件に住みたいとは思わないけど、その物件を有効に使っている人の意見など見れて、世界が広がった。			
	50	50P (20分)		2013/07/15 13:29:56
ばみゅ ☆☆☆☆	要求が人によって違うのはあるべき、違う要求に応じてふさわしい個性がある物件を提出することは面白いと思います。			
	すべて	334P (200分)		2013/07/09 12:27:27
AM5:42 ☆☆☆☆	とりあえず「リノベーション」って言えばカッコいい、みたいな風潮が出てきている気がする。なんでリノベーションなの？という問いが社会問題の本質へと続いて行く・・・			
	1	163P (60分)	どこでも	2013/06/28 23:47:36
マルメロ ☆☆☆	ばらばらと気になったページを捲り、気になったページを読んでみただけなのですが、それでも面白い住宅にたくさん出会えました。 ただ自分が住みたいかという・・・？ 遊びには行ってみたいと思います。			
	1	15P (10分)		2013/06/28 00:09:44
	サクッと読んで「東京R不動産」のHPを見ってみました。普段から不動産屋のHPや看板を眺めるのは			

<p>はな ☆☆☆</p>	<p>好きで、隙があれば掘り出し物件を見つけて引っ越そうと考えながらも、今の物件に早六年目。HPの方にも面白い物件が多いです、正直本より楽しめました。本の方は面白い物件は多いものの、奇抜すぎてあまり住むイメージまでは湧きませんでした。HPは住めそうで面白い物件がいくつか。来春には東京R不動産の扱う物件に引っ越そうと思います。</p>		
	1巻全部	175P (70分)	2013/06/21 17:06:32
<p>蛭田 ☆☆☆☆</p>	<p>不思議だが、物件の写真を見ているだけでわくわくできた。 オシャレな空間やどこか焦燥感に駆られるものだったり、はたまたこれはちょっと・・・というような物件もあって、飽きることなく読めた。 ちょっとした暇つぶし程度の感覚で読めるので、興味のある方はぜひ。</p>		
	2巻	159P (60分)	2013/06/13 16:12:57
<p>daasuuu ☆☆☆☆</p>	<p>個性的で敬遠されがちな物件に新たな価値を生み出す 確かにこんなに変わった部屋に住めるのも一人暮らしの今しかできないのかも。個人的には屋上物件とシェアプレイスに魅力を感じました。</p>		
	2巻	159P (20分)	2013/06/11 17:44:23
<p>book9648 ☆☆☆☆</p>	<p>街中にある空家は解体されたり、廃墟として残ったりするが、リノベーションすればまだまだ使える。解体するのももったいない。 面白い物件がたくさんあった。 若干、字が小さいのが残念。</p>		
	2巻全部	159P (120分)	124,125 2013/06/10 16:20:08
<p>あきう ☆☆☆☆</p>	<p>のってるお蕎麦屋さんとかカフェとかとてもステキで行ってみたい！！！！としました。 あまり考えたことはなかったですが私も自分の部屋にこだわりとかコンセプトをもって、過ごしやすい空間にしたら何か生活に変化が起きるのでは……！と少しワクワクしてとりあえず掃除を始めました。</p>		
	1.2巻	334P (45分)	上巻100-111 2013/06/03 13:26:30
<p>555 ☆☆☆☆☆</p>	<p>わくわくする。でも、実際にここに住むと思うとどうか。憧れ半分と不安半分な暮らしである。どこからこんなにもおもしろい物件を見つけてくるのだろうと思わされた。中途採用だけでなく、新卒採用もやってくれたらいいのに。</p>		
	全部	334P (100分)	スケルトンの状態で売られた家 2013/05/28 23:22:39
<p>kabadie ☆☆☆</p>	<p>住宅は良くも悪くも「箱」で、そこに住む人の思いを受け止めるものだとすることを痛感した。すべてが成功例というわけではないだろうけど、自由に住まうことが重要だと思う。</p>		
	1-175	175P (60分)	76-79 2013/05/28 13:13:53
<p>みね ☆☆☆</p>	<p>写真が感動させました</p>		
	1-159	160P (40分)	2013/05/22 10:56:16
<p>青豆 ☆☆☆☆</p>	<p>普段目にする賃貸住宅とは違ったアレンジどころ満載の物件を紹介してくれる一冊。引越しの時には是非とも参考にしたいです。</p>		
	1-334ページ	334P (50分)	2013/05/14 12:04:17

candy ☆☆☆	今までは目にも留められていなかったような物件が、オーナーのセンスでこんなに個性的で魅力的な物件になるなんて。住んでみたいと思える物件満載です!!!		
	1-334	334P (60分)	2013/05/14 08:40:53
おさむ ☆☆☆☆	思わずサイトを訪れてしまった(笑)料理を作れるようになったら、改装も出来るようになりたい!!料理のあとかーい。		
	全部	334P (40分)	2013/04/26 16:45:24
おいしい ☆☆☆☆☆	こんな部屋に住んでみたい!という好奇心、探究心を掻き立てられる一冊でした。東京をはじめ日本には色々な面白い暮らし方があることを認識させられます。狭いから、古いからといって敬遠されがちな物件の進化した姿に感動です。		
	1巻	163P (70分)	2013/04/26 16:17:24
joker00 ☆☆☆	住まい。生活感。それぞれに違うものであり、当然求めるものも個人で異なる。自分が住みたいと思うものはこの本にはなかったが、色々インテリアとかいじりたくなった。この本に載るくらいお洒落な部屋をつくってみたい。		
	全部	334P (30分)	2013/04/16 20:07:30
14 ☆☆☆☆☆	インテリアの雑誌感覚で軽く読める厚さで、詳しい説明を読みたくない方にもおすすめ出来る本です! テレビをあまり見ない僕としてはイラストも多くて非常に面白い本でした。		
	すべて	160P (90分)	2013/04/16 11:45:23
まるちぶる ☆☆☆	なんぼものぐさな私でも、変わったものは好きでして、自分でリノベーションなんて死ぬまでしないのだろうけど(稼いで金にモノを言わせるなら別かもしれない)、想像力でおなかいっぱいになれる素敵な不動産てんこ盛り。		
	1・2全て	334P (40分)	1巻pp.160-164 (villa series) 2013/04/15 17:35:32
まほら ☆☆☆☆	個人的に人のいろんな生活空間を見るのが好きなのでそういう面だけでも面白かった。今ある特徴を工夫してどう生かしていくのか、そのアイディアも見どころ。		
	1巻	334P (120分)	2013/04/15 11:07:20

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

東京妙案

著者名	相羽高徳	発行年	2010年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	198ページ
値段	1,890円	ISBN	978-4532491109
コメント	ラーメン博物館は夕焼けレトロイメージ。星の王子様パーキングエリアはプロヴァンス風。ヒット作品だけでなく、ペットミュージアムとかスミソニアン博物館テイストの本屋さんとか、あったらうれしいよねのアイデアがいっぱい。 でさ、こんどはこんなコンセプトで設計したら、どうかな。カラフルなイラストと楽しそうな語り口のおかげで、シカクイアタマをマルクして（←これも相羽さんのお仕事）一緒にブレインストーミングしているような臨場感。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ruke ☆☆☆	ディズニーでも、何か一つのことには熱中することで思わぬアイデアや発想が生まれるものだと考えさせられた。趣味でも専門でもその道を究めることが奇想天外につながるのだろう。文は具体的な内容が多くとても読みやすかった。			
	1-92	92P (70分)		2013/07/31 00:29:06
ほしほし ☆☆☆☆☆	デザインに疎い私なので、専門家から勉強しようと思いこの本を手にとった。空間をプロデュースするには、老若男女誰にでも受け入れられること、遊び心とワクワクする仕組みが大切なのだと感じた。行楽の機会が増える夏には、様々な場所へ行くだろう。この本で場に対する視点を学んでから行ってみると、一味違う夏になるかもしれない。			
	1-198ページ	198P (134分)	45-49ページ	2013/07/08 12:28:04
だんぼーる ☆☆☆☆	こういうものを考え付くには、常識にとらわれない「妄想力」が必要なんだと思う。その上で、それを常識と照らし合わせて少しずつ修正して、実現させちゃうんだから凄い。建築物やインテリアは好きなので、余計に読んで楽しかったです。			
	全部	198P (60分)		2013/07/02 01:32:23
25 ☆	何を伝えたい本なのかがわからない。筆者自身も言葉が苦手だ、視覚人間だと言っている通り、方法論を説明するわけでもなく、結果を羅列した日記のようなものです。できたものは確かに妙案だし、おもしろい。相羽さんは才能のある人なのだろうと思います。が、サブタイトルの「発想力の秘密」はよくわかりませんでした。			
	ばらばら	50P (20分)	なし	2013/06/11 15:29:09

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

555 ☆☆☆☆	所々にある挿絵の図面やパースが印象的。文章はやさしい語り口調ですんなり入ってきて、これらの図でがつんと心に入ってくるような気がする。		
	全部	198P (70分)	2013/06/10 16:33:06

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

トトロの住む家

著者名	宮崎 駿	発行年	2011年
出版社名	岩波書店	ページ数	93ページ
値段	2,300円	ISBN	978-4000257978
コメント	家と、樹々と、人が寄り添いあって、ゆっくり年を重ねてきた、そのたまたまに、宮崎監督のおともをして、ほんのつかのま、おじゃまさせていただきます。 この明るい板張りの縁側では、どんな少女たちが桜のつぼみを数えたのだろう。 この節くれ立ったエゴの木は、どんな腕白坊主がよじのぼったのだろう。 写真とイラストからご自由に、いにしえの息づかいを蘇らせてください。 あ、トトロめっけ！		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆☆☆☆	映画のトトロとセットで見たい。 自然の良さとほのぼの感、最高です。 今でも三角型の大きい森？を見つけると トトロの森だーなんて思います。笑 心が疲れたときに癒されたい。			
	全て	93P (30分)		2013/07/31 15:06:37
おいしい ☆☆☆☆☆	ジブリが好きなので読みました。(1番好きなのはラピュタですが) トトロの世界観って、見るだけでも心が落ち着きますね。日本の原風景とでも言えましょうか。			
	全部	93P (20分)		2013/07/30 01:24:25
kabadie ☆☆☆☆☆	純和風の家ってなんとなく見てるだけでも落ち着くんだなあ・・・日本人だなあ自分、と感じた本でした。縁側、廊下、庭そのどこかに知らない世界が混ざっていい感じで、子供の遊び場としては最高の空間だと思う。そのどこかにトトロがいるのかも。			
	全部	93P (20分)	28-29の見開き	2013/07/25 16:49:18
zin ☆☆☆☆☆	トトロ好きにはたまらん本だと思う。 スケッチも綺麗だし、なんとなく懐かしい匂いがある感じ。 ぬはートトロの世界に行きたい生きたい！			
	全部	93P (60分)		2013/07/25 13:34:04

iksk ☆☆☆☆	ジブリ大好きなので、じっくり見ました。 宮崎駿さんの絵も本当に素敵です！		
	全部	93P (20分)	2013/07/23 12:25:45
quench ☆☆☆☆	トトロの世界が本の中に広がっていた。最近の猛暑を忘れられるようなおだやかな世界が描かれていてすごく和みました。		
	全部	93P (40分)	2013/07/13 10:22:42
しろ ☆☆☆☆	古き良き日本の家々が紹介されていて、ほんとにジブリの世界に出てきそうだなあと感じた。決して暮らしやすい家ばかりでは無さそうだが、その家に暮らす人たちの思いなどこれからの日本人が忘れてはいけないことがたくさん含まれているように思う。スケッチの細かいところまで見てるとつい楽しくなってしまった。		
	全部	93P (60分)	宮崎駿さんのスケッチ 2013/06/28 18:52:56
ばみゆ ☆☆☆☆	トトロが心に行ったら、どこでもトトロが住んでいると感じた。		
	1-93	93P (70分)	2013/06/28 12:05:41
あきう ☆☆☆☆	もちろん写真もステキなのですが、やわらかいスケッチにかかれた言葉に癒されました。特に「発想の大転換を!!」のところがおお！となりました。		
	全部	93P (60分)	70-71 2013/06/03 13:31:06
曦 ☆☆☆☆	日本っぽい家ですね。 アニメを見ている時の感情も溢れてきました。 「現実にもそんなものが存在しているかなあ！」とっていました。		
	全部	87P (60分)	2013/05/24 16:37:50
joker00 ☆☆☆☆	癒される...まさにトトロが住んでるような世界がそこに。 自分で買って読むことはないし、きっと図書館で借りることもないであろう本なのでこういう機会に読めてよかったと思います。		
	1-93	93P (20分)	2013/05/22 10:48:40
まほら ☆☆☆☆	様々な古い家が、生活空間も含めて紹介されている。散歩とかして民家を見るのが好きな自分にとっては魅力的な本だった。和む。		
	1-93	93P (60分)	2013/05/07 13:03:06
ひゃくたむ ☆☆☆☆	最後を読んでから始めから経過を見ていった。 まさにトトロの世界の家そのもので、のんびりして落ち着くようなそんな家、公園だった。宮崎監督は日頃から周りをよく観察し、感銘をうけているんだなと感じた。		
	80-93 その他もろもろ	20P (5分)	2013/04/09 20:41:38

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

京都洋館ウォッチング

著者名	井上章一	発行年	2011年
出版社名	新潮社	ページ数	125ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4106022265
コメント	ヘンなものを探して古都めぐり。粋なんだか、野暮なんだか、もうメチャクチャ。 あなたの感性、ためしてください。 山室は62ページ京都市美術館の和灯笼がお気に入りです。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ゆう ☆☆☆	横浜山手、神戸三ノ宮、両方とも洋館が素敵で好きな地域だったので、今度は京都の洋館を見に行きたくなった。			
	すべて	125P (125分)		2013/07/31 01:14:56
フェリー ☆☆☆☆	京都が好きで何度も観光に行っているのですが、見たことのある建物が多く紹介されていて楽しく読めました。和の街に洋が自然と溶け込んでいて不思議な感じがします。和と洋の絶妙なバランスが新たな街の魅力を引き出しています！			
	1-125	125P (30分)		2013/07/27 22:01:03
いわし ☆☆☆	これからの時代は京都は和にこだわるだけでなく、和と現代の流れをうまく溶け合わせることが必要なのかなぁと感じました。			
	全部	125P (15分)	110-112	2013/07/10 17:21:52
ショーコール ☆☆☆	京都といったら和のイメージが非常に強いのですが、洋の視点で建造物を紹介している作品。個人的には、大河ドラマでも出てくるであろう新島旧邸にいつてみたいと思いました。			
	全部	125P (40分)		2013/07/07 19:47:57
quench ☆☆☆	京都といえば和風な歴史的建造物のイメージが強かった。その和の中に洋風な建物が混ざっている様が、良いアクセントとなっているように感じた。今後京都を訪れることがあれば、是非洋館にも立ち寄ってみたい。			
	全部	125P (30分)		2013/06/27 19:06:06

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

曦 ☆☆☆	京都に行った時に、和風の世界に洋館の存在さえ知りませんでした。 この本を読むと、今度に京都に行く時に洋館に行ってみたいと思います。	全部	125P (60分)		2013/06/18 12:51:30
Harley Davidson ☆☆☆	見ていて面白い洋館がいろいろあった。 京都は見たいところがいっぱいありますねー。	全部	125P (60分)		2013/06/11 23:01:40
book9648 ☆☆☆☆	この本を読む前は洋館にあまり興味がなかったが、写真を見ているうちに、なかなか面白いと思った。 建築ガイドも見やすかった。 京都に行く機会があれば実物を見てみたい。	全部	125P (60分)	64,65	2013/06/04 12:37:26
まほら ☆☆☆	京都といえば「日本」的な、和という感じがするが、その京都に存在する洋館にスポットを当てた作品。どちらかというと西洋建築のほうに興味があるので読んでみた。京都という究極の和の中にたたく洋館は、しかしそれが周囲と比べて異質なものにはなっておらず、まさに和洋折衷という言葉で表現されるべき建造物となっている。ただ自分が一番気に入った写真は最後のページの鉄道跡。	全部	125P (60分)		2013/05/28 11:17:40
くい ☆☆☆	京都というと金閣寺、銀閣寺、清水寺…といった寺のイメージが強いが、この本は視点を変え、京都を洋館などの近代建造物から見た本。自分のイメージとは違った点から京都の写真を見ることができ、面白かった。	全部	125P (30分)	写真	2013/05/21 13:01:54
ruke ☆☆☆	テーマごとに京都に存在する洋館、和館について説明している。建物の写真とその説明が同じページになかったり、建物の写真がなかったりと読みづらいところが多かった。一番気に入った建築は中央郵便局。内部はすっかり変えられているが、外壁のレンガはそのままの状態である。建築史の流れが書いてあって、おかげで少しは洋館を見ただけで年代を鑑定できるようになったかもしれない。その点面白かった。	全部	125P (180分)	70-87ページ	2013/04/29 15:14:55
まるちぶる ☆☆	平易な漢字を平仮名にし、読点を多く用いた文体。内容はある程度密度のあるものだったけれど、どうにも好きになれない文章だったので、写真だけを眺め、気になった建築物に限って解説を読むスタイルを採った。 べつに京都じゃなくてもいいかな、という洋館が割合多く、環境の影響を受けない力強さを感じました。お気に入りにはTIME'S I&II、府一、ハリストス正教会、新島旧邸、一番好きなのは無鄰菴！修学旅行以来行ったことのない京都、今年は学会で行くのでいまから楽しみです。	全て	125P (30分)	写真のみ	2013/04/09 16:43:20